

7月届出分

京塚原

諏 訪 下

お誕生おめでとう (敬称略)

(出生児) (保護者) (公民館) 黒木場 誠 間 H14.6.25生まれ 海 小路下手 杉水流 H14.7. 2生まれ

大 立

H14.7. 5生まれ 内 直

H14.7.20生まれ

おくやみ申し上げます (敬称略)

(届出人) (死亡者) (公民館)

上大迫 盛 光 上下大迫 Ξ 84 正 83 利 東 堀 内 84 武 脇

善意の灯火(フ月分)

香典返し (敬称略)

(寄付者)

(公民館)

剛(故 大 大 正 正 三) 内 武(故 サ) 樋 フ ミヤ子) 大 滿 袁 新 一(故

9月8日 医師会病院(内外児) 53-0326

15日 立志病院(内科) 55-9119

おおたクリニック(内科)入来町 44-3151

16⊞ 小緑内科(内科) 52-1676

22日 稲津病院(外科) 52-3355

MKリハビリテーション病院(内科) 53-1704 23日

29⊟ 海江田医院(外科) 53-0006

> 川添医院(内児)樋脇町 37-2017

10月 6日 林田内科(内科) 53-1177

世

7月31日現在住民基本台帳

1,829 世帯数 (前月比 +3戸)

5,020人

男 2,360人 (前月比 +12人)

女 (前月比 -5人) 2,660人

武士団が発生して、勢力拡大 平安末期に源氏・平氏という 巻く権力争いがひどくなりま 朝が全国に警察職=守護職を の争いがありましたが、 国の役人= 国司がいました。 治ではなく、税を納めさせる 配置してから、守護職を取り 領主たちは、武士を多く集 攻めにくい崖があって、

> 団のようになり、長岡城のほ 守りました。 か時吉城 (富岡城)・虎居城 の発生に伴って大前氏も武十 て大前氏がいましたが、 院氏が来る以前は、 を建てて一族を守りました。 斧渕城なども築いて一族を ここは城ヶ迫と呼ばれ、 長岡城・・・鶴田氏や祁答 国司とし

孝雄さんに一声かけて、 に立てば、 本丸 (城主の館) つもの台地や堀があり、 に記念碑がありますが、 に出城などがあったようです。 川内川や時吉城 跡らしき所 野 脇 中園 現地 近く 角

川を背にした山上に幾つかの

来て、 が一望できます 城を築きました。 となり、前川を背にした鶴田 奈川から大谷重諸の子重行が ままやしげつら 居城したようです。 鶴田城・・・宝治二年に神 大前氏の後は、 薩摩町・鶴田区の領主 祁答院氏が

の400年間を中世といいま

鎌倉以前は、武士による統

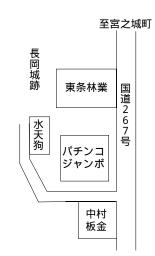
南北朝・室町・安土桃山時代

文治から天正までの鎌倉

台地を作り、そこに館= 平屋

城

崖で囲まれています。 館としたところで、川内川や のとき連れてきた「梅」の居 島津歳久が宮崎の伊東氏攻め る幾つもの台地があります。 に二の丸、三の丸跡と思われ 頂上は、 梅君ケ城・・・天正時代、 以後、153年間の城でした 本丸跡で、下の方



長岡城跡

帯 数 لح

(前月比 +7人)